

2020 年度実施概要

学校名

天草市立栖本中学校

採択活動名

水辺の生物・水質調査や水産資源の活用のあり方を通じた環境にやさしい生活の科学的考察

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 水辺の生物・水質調査及び干潟の生物調査と海洋漂着ゴミの採取と類型化	1	総合的な学習

取り組みの概要

「水辺の生物・水質調査」では、取りかかりを地域を流れる「河内川」とした。この川は住民の生活用水となっており、自分たちが日頃使っている川がどのような川なのか知ることは意欲を喚起する。

川がきれいであれば、それを維持する活動が、そうでなければきれいにするための新たな取り組みが必要となるからである。自分たちの生活と直結する川であるがゆえ、川について知ることは必要性を増すのではないかと考えた。また、この川の行き着く先には海（不知火海）がある。地域住民の中にはこの海に携わる仕事をされている方も多い。そこで、次の「干潟の生物調査」では、河内川が流れ込む入り口である河口干潟へと学習の範囲を広げていった。干潟の生物の様子を観察するだけでなく、干潟の果たす役割などを学習することで、干潟の重要性を確認した。この学習を踏まえ、「海洋漂着ゴミの採取と類型化」では、前回の干潟生物調査の折に、目に付いたゴミに着目し、ゴミの採取と類型化を行った。どのようなゴミが漂着しているか予想を立て、その検証を行い結果をまとめた。

今回の学習では、一連の流れが計画にあったが、生徒にはその都度、調査結果からの考察を経て、新たな課題を見つけさせるようにした。また、計画の段階から天草海部の方々に的確なアドバイスをいただいたことで、学習をスムーズに行うことができたと思う。

活動中の写真

水辺の生物・水質調査



干潟の生物調査



海洋漂着ゴミの採取と類型化

